

平成 27 年 11 月 27 日

貝塚市議会議長 様

公明党議員団  
谷口美保子  
北尾 修  
前園隆博

報告者 前園隆博

第 10 回全国市議会議長会研究フォーラム in 福島および相馬市/東日本大震災被災地の現状視察  
報告

全国市議会議長会主催の全国市議会議長会研究フォーラムが下記の日程で行われ、相馬市の東日本大震災被災地の現状視察とともに、公明党議員団 3 名にて参加いたしましたので、報告致します。

第 10 回全国市議会議長会研究フォーラム in 福島

日時；平成 27 年 11 月 18 日（水）13 時～17 時

19 日（木）9 時～11 時

場所；福島県文化センター

内容；11 月 18 日

1. 基調講演「大震災からの復興と備え」五百旗頭 真氏 熊本県立大学理事長

東日本大震災では多くの方が亡くなられたが、奇跡的に多くの方が助かった例をあげ、身一つで直ちに逃げるのが大事。不幸にも人を救おうとして消防団他多くの方が亡くなられた。

東日本大震災では 2 万人もの犠牲者がでたが、海外からは被害の少なさを評価している。

日本はソフト面での防災が進んでいるのではないか。

復興の進めかた。自治体によるリーダーシップを尊重すべき。まちづくりは、国はスキームを示すが、自主性を尊重すべき。

津波の場合は自助しかない。地震は共助が必要。

被害者を救ったのは隣近所が約 8 割であり、地域活動力、救出力のある自治体の存在は大事である。

2. パネルディスカッション「震災復興・地方創生の課題と自治体の役割」

コーディネーター 城本 勝氏 NHK 福岡放送局長

パネリスト 山下祐介氏 首都大学東京准教授

大滝精一氏 東北大学大学院経済学研究科教授  
金井俊之氏 東京大学公共政策大学院教授  
役重眞喜子氏 花巻市コミュニティアドバイザー  
高木克尚氏 福島市議会議長

#### 震災復興の現状と課題

農業、漁業、水産加工量などは7～8割近くまで回復しつつあるが、震災前に抱えていた高齢化、担い手不足などの問題はそのままであり、課題はより明確化になっている。

また、復興のゴールが不明瞭。補助金行政の弊害がみられる。

合意形成が重要

#### 地方創生

国が進める地方創生については、否定的な意見が多かった。

#### 自治体と議会の役割の現状と課題

復興と地方創生の流れを弱めていないか点検が必要

議会は多様な意見をくみあげ、再編し、議論によって論点を可視化すること。

11月19日

課題討議「震災復興と議会～現場からの報告」

コーディネーター 河村和徳氏 東北大学情報科学研究科准教授

パネリスト 伊藤明彦 陸前高田市議会議長

熊谷伸一 気仙沼市議会議長

平田 武 南相馬市議会議長

#### 災害発生時に求められる地方議会の対応力

陸前高田市 国とのパイプがない。脆弱は地方自治体。

気仙沼市 細分化が必要

南相馬市 賠償金関連

#### 復旧・復興過程における対首長・対住民関係

陸前高田市 専決処分が多くなった。議会、委員会も開けなかった。

気仙沼市 大学、NPO法人がランダムにはいつてきたことの混乱

南相馬市 議員個人の対応では混乱

#### 将来に向けた取り組みの必要性について

陸前高田市 陸前高田市議会災害対応指針の策定、陸前高田市議会災害対策会議設置要綱の策定、陸前高田市議会災害対策行動マニュアルの策定

気仙沼市 津波死ゼロのまちづくり、早期の産業復活と雇用の確保、職住復活と生活支援、持続可能な産業の再構築、スローでスマートなまちとくらし、地域に笑顔あふれるまちづくり

南相馬市 放射能の除染と除染廃棄物の処理。長期にわたる健康被害の対策

相馬市/東日本大震災被災地の現状視察

日時；平成 27 年 11 月 19 日（木）11 時 30 分～16 時

場所；相馬市新市民会館

立谷相馬市長から、地震発生からの対応、対策、政策、復興状況、今後についての説明。

視察場所

災害公営住宅、新防災備蓄倉庫、千客万来館、相馬こどもドーム、松川浦パークゴルフ場など。様々な施設が建設され、復興の状況を見ることができました。

感想

今回、震災復興について、議会、議員としていかに対応すべきかについて、考えることができました。当市議会においても、しっかり検討していきたいと思います。

また、被災地は現在も多くの問題を抱えており、しっかり応援もしていきたいと思います。

以上